



新たな未来を創り出す皆さんへ

校長 飯田 恵子

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。
 2019年5月1日に年号が令和に変わり、令和の最初に高校に入学した皆さんの3年間は新型コロナウイルスに振り回され、想像していた高校生活とは違ったと思います。私にとっても、36年の教員人生の中で最も困難を感じた3年間でした。生徒の皆さんに、「あなたの大切な人を守るために密を避ける」「マスクの着用、食事は黙食」「学校行事は中止、または短時間で済ませる工夫を」等、制限をかけてきました。このような不自由な高校生活の中にあつた皆さんから学んだことは、「でき

ないとあきらめるのではなく、どうすればできるようになるかを考え、やってみることの大切さ」。
 後に令和の時代を振り返った時、新型コロナウイルスとロシアのウクライナ侵攻は、歴史的出来事となるでしょう。過去を変えることはできませんが、令和の時代を生きる皆さんは、新たな未来を創り出すことができます。あなたと世界はつながっています。世界の動きに目を向け、過去の歴史を参考にしながら、持続可能な未来を創るために、何ができるかを考え、行動できる大人になってください。

卒業生に贈る言葉

Congratulations on your graduation!



1組担任 / 中西 俊康



2組担任 / 小車 香織



3組担任 / 鍋島 方子



4組担任 / 中尾 恩



5組担任 / 那須 智子



6組担任 / 藤田 智和



7組担任 / 坂本 愛



8組担任 / 古川 智久



9組担任 / 村上 優



学年主任 / 柳生 佐保

熊商デパート
今年けプロの売り手になっちゃいます!

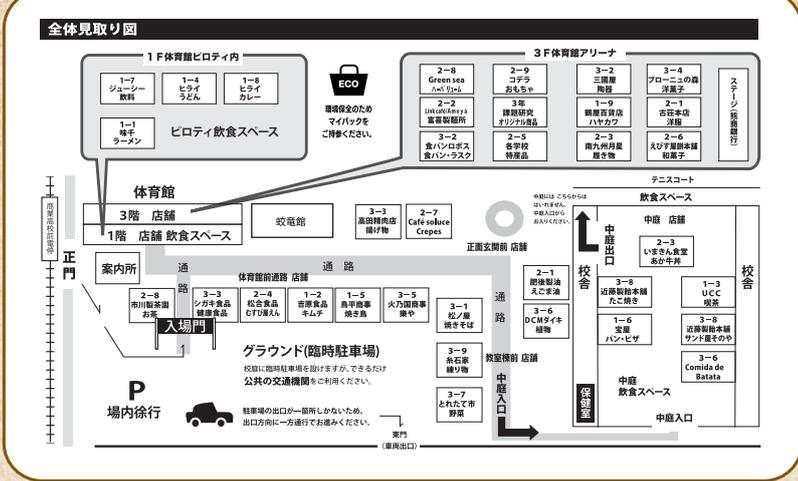


3年ぶり!
待望の一般公開

第35回熊商デパート

12月3日・4日に「第35回熊商デパート」が開催されました。今年は3年ぶりに入場制限がない一般公開で、来場者数は2日間で11,084人（昨年の2.6倍）と、大盛況のうちに終了することができました。

2年・3年生にとって一般公開の体験は、まさに“まだ見ぬ景色”でした。貴重な販売実習の場で、ひと回りもふた回りも成長した生徒たち。その奮闘ぶりをご覧ください。



売上計算・放送で頑張る生徒



大人気の熊商ロール 今年も大行列!



販売以外もお仕事いっぱい



頑張った甲斐あって、 どの店舗も「完売」続出!!



完売御礼

商品だけじゃない!

熊デバの魅力

お客様に聞きました

長くファンから愛され続けるそのワケは…

何と言っても生徒たちの「おもてなしの心」と「溢れるパワー」。マスク越しからでも伝わる"笑顔"と丁寧な接客に「つつい買い過ぎてしまった」や「明日も来たくなる」「行列にもつい並んでしまう」など、温かい声がたくさん寄せられました。



熊商デパートを終えて

まず最初に、熊商デパートを支えてくださった皆さんへ「感謝」の一言に尽きます。3年ぶりの一般公開もコロナ禍で大々的な開催告知がままならず、実のところ不安をかかえながら初日を迎えました。しかし、いい意味で期待を裏切れ、1日5000人を超える予想以上の来場でした。それもこれも、クチコミで一生懸命告知してくださった保護者の方や生徒たちのお陰だと思っています。

また、熊商デパートの一般公開を経験した生徒がいない点も心配していました。ある意味、3年生も経験値としては1年生と同じ。昨年までとは比にならない来場者数…生徒たちには高い対応力が求められました。しかし、この大変さを知って卒業して欲しかった。後から振り返った時に「あの時は大変だったけど頑張ってた良かった」と思える体験はとても貴重だからです。

一日目は、お客様への対応や段取り、手際などを見ていて、大丈夫かな?と心配しました。しかし、二日目は一日目の経験を活かして成長しており凄く驚きました。私自身、開催に至るまでの準備など大変な事が多々ありましたが、子どもたちのいい表情を見た時に報われた気持ちになりました。

今、学校で学んでいる内容の実践を、保護者の方々に見ていただける良い機会だったとも思います。来年も今年同様、一般公開ができたら…と思っています。

森広明先生
実行委員長



「今年是一般公開でしたが、いかがでしたか?」

3年生にとっては初の一般公開で、予想以上のご来場者数にとっても嬉しく思っています。当日を迎えるまで、本当に従来通りのお客様が来てくださるのか?と正直ドキドキしていました。

「前年度と比べて大変だったことは?」

昨年はチケット制で、大体の仕入れ数も把握できていましたが、今年は仕入れの予測も難しく、各店舗苦勞したと思います。また二日目は雨予報で、テントや雑巾など雨対策の準備もありました。想像以上の行列にご案内に時間がかかったり…と、様々なハプニングがありました。でも私たち生徒一人ひとりが改善策を考えて、対応が出来ていたと感じています。

「最後に2日間を終えて、ひと言お願いします」

お客様から「がんばってるね!」と温かいお声を頂いた時、熊商デパートは沢山のお客様から愛されているんだなと思いました。協賛企業の皆様、先生方、そして生徒が一つになり、今日に至りました。心から感謝しています。この素晴らしい伝統を、次の学年にしっかりと繋いでいきたいです。ありがとうございました。

生徒実行委員長
3年 寺師愛恵



育友会活動紹介

第71回全国高等学校PTA連合会大会 石川大会

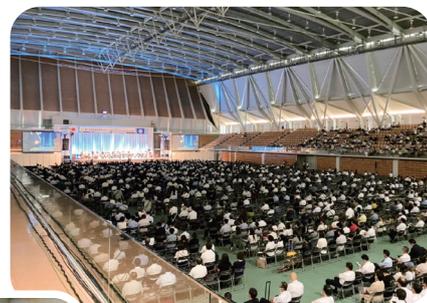
～子は親の鏡・まずは親からアクションを！～

8月25日・26日に3年ぶりに開催された同大会。今回のテーマは「輝く未来への礎～親から始める新時代の教育～」でした。

世界を震撼させたパンデミックの中で、子どもたちは急速に進んだニューノーマルな環境に、必死で対応してきました。

そこで、親は何をしてあげられるのか？まず親である私たちが、希望を持てる未来づくりの為に主体的に行動すること。今こそ一歩前に踏み出そう！という力強い目標を掲げた、学び多き内容でした。

石川県の皆様のおもてなしも素晴らしく、全国のPTAが一丸となる可能性を感じた2日間でした。



熊本県中央地区公立高等学校PTA指導者研究大会

～熊商の魅力を届けたい！より良い情報交換の場に～

11月5日に開催されたPTA指導者研究大会。熊本商業高校は、育友会の活動内容や学校活動を発表しました。

審査の結果、県大会出場は宇土高校に決定しましたが、他校の皆様にも「会報紙のデジタル化」への移行の経緯や「熊商デパート一般公開」の告知など、本校の取り組みをPRできる良い機会となりました。



養護教諭 永野先生を囲んでの意見交流会

今回は、最近の保健室の来室状況や生徒の健康面・生活面の課題などについてお話をいただきました。利用状況としては、9月の保健室・平均利用者数が5.5～6.7人。利用は月・水曜が多く、金曜は少なめなのだそう。健康面では、ケガや偏頭痛が多く、家族との問題やクラスでの人間関係に悩む生徒も少なくないとのこと。

総合的な面では、“親が心配しすぎる事で子どもの成長を妨げている”と感じる場面が多く見受けられたそうです。養護教諭としてはもちろん、豊富な知識をお持ちの永野先生。その経験を活かした視点で捉えたご意見を数多く聞くことができました。参加した保護者からは「気づきがたくさんあった」「家庭での子どもへの接し方のヒントになった」などの感想をいただき、有意義な時間となりました。



【永野 周子先生のプロフィール】

養護教諭・看護師・特別支援教諭・カウンセラーの資格を保持（4人のお子さんを育てられた経験あり）

育友会卒業挨拶

コロナ禍でも子どもたちの学びをとめないために色々な対策を練りご指導して下さった先生方、そして、会員皆様のご多大なるご支援・ご協力のおかげで無事に任期を終えることができました。

役員になったことで前向きに頑張る子どもたちの姿を間近で見ることができ、とても充実した日々を過ごす事ができました。

これからも熊商の皆様のご活躍を楽しみに応援していきます。

ありがとうございました。

育友会会長 田尻 千賀



左から
3学年委員長/飯富春枝 広報委員長/桑原まき子 会長/田尻千賀
副会長/小島智美 保健委員長/野田理佳

編集
後記

今回は、贈る言葉や熊商デパートなど、あたたかな気持ちや子どもたちの頑張りが見てとれる内容だったように思います。この「蛟竜」が誰かの心をほっこりさせてくれることを願っています。